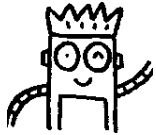


さいごうたかもり

西郷隆盛は、どんな人だったの



さつまはん 薩摩藩の中心人物となつて、幕府をたおすのに活
躍したが、西南戦争で敗死した人だよ。

西郷隆盛は1827年に、薩摩藩（今の鹿児島県）の下級武士の長男として生まれました。幼名は小吉、成人名は隆永、のち隆盛、号は南洲です。1854年に藩主の島津斉彬について江戸に行き、斉彬に才能を認められて、斉彬の手足となって活躍しました。1858年に斉彬が亡くなり、その後の「安政の大獄」にまきこまれると、隆盛は幕府に追われる身となりました。鹿児島に帰りましたが、藩にも助けてもらえず、海に身を投げ、その後とらえられ、島流しになるなど苦しい時代を送りました。1864年に許されてから、藩政に加わり薩摩藩の中心人物として京都で活躍しました。

さつちやうどうめい

薩長同盟を結び、江戸城を無血開城した

第1次長州征伐が始まると、長州藩（今の山口県）を説得して、戦いがないうまま終わらせました。1866年に長州藩と同盟し（薩長同盟）、翌年には、王政復古を成功させました。1868年、鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍を破り、江戸へ進軍しました。勝海舟と話し合つて、江戸城を無血開城させたことが有名です。

さんぎ

新政府の参議をやめて故郷に帰り、西南戦争を起こした

1871年に新政府に招かれ、参議（今の大臣）などの重要な職につきました。1873年、板垣退助らと、朝鮮を武力で従わせようと主張（征韓論）し、まず自分を大使として朝鮮に派遣するよう要求しましたが、岩倉具視らに反対され、参議をやめました。その後は鹿児島に帰り、銃隊学校と砲隊学校からなる「私学校」をつくつて、士族の子弟の軍事教練などを行いました。

西南戦争を起こして、敗死した

1877年、新政府に不満をもつ鹿児島の士族（不平士族）におされて、西南戦争を起こしましたが、熊本の田原坂などで敗れ、鹿児島市内の城山で自殺しました。

（注）安政の大獄：大老井伊直弼が反対派を弾圧した事件